



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月8日

上場取引所 東大

上場会社名 丸大食品株式会社
 コード番号 2288 URL <http://www.marudai.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 百済 徳男
 (氏名) 加藤 伸佳

TEL 072-661-2518

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	50,368	2.0	1,114	△35.7	1,091	△36.5	376	△71.1
24年3月期第1四半期	49,399	2.5	1,732	2.4	1,718	0.6	1,301	5.3

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 83百万円 (△93.3%) 24年3月期第1四半期 1,243百万円 (84.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	2.90	—
24年3月期第1四半期	10.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	124,335	67,204	52.8	505.16
24年3月期	124,357	68,309	53.7	514.06

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 65,623百万円 24年3月期 66,779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	9.00	9.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	104,000	3.4	3,400	2.6	3,450	2.0	2,800	2.4	21.55
通期	210,000	2.9	6,000	1.6	6,200	1.2	4,000	1.7	30.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	132,527,909 株	24年3月期	132,527,909 株
25年3月期1Q	2,621,301 株	24年3月期	2,621,130 株
25年3月期1Q	129,906,657 株	24年3月期1Q	129,908,706 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などにより緩やかに持ち直しつつあるものの、欧州政府債務危機や世界経済の減退懸念、円高・株安などを背景に景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

加工食品事業におきましては、国内のデフレ問題、雇用不安などによるお客様の節約志向や商品の低価格化などにより販売競争が激化するなど厳しい環境が続いております。また、食肉事業につきましても、牛肉相場の回復は鈍く、豚肉・鶏肉相場は供給量の増加に伴い低調に推移するなどさらに厳しい状況下にあります。

このような状況の中、当社グループは、お客様に信頼される「より安全で安心」な食品の提供に努め、「お客様第一」「コンプライアンスの徹底」「安全性と品質の追求」を基本方針とし、「多角化戦略の推進」「グループ経営の強化」「商品開発力の強化」などの諸施策を軸に企業活動を推進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期比2.0%増の503億68百万円、営業利益は前年同四半期比35.7%減の11億14百万円、経常利益は同36.5%減の10億91百万円、四半期純利益は、「フィッシュソーセージ」の一部商品に包装不良が発生致しましたことから、製品自主回収関連費用を計上したことなどもあり、同71.1%減の3億76百万円となりました。

セグメント別の業績の概況は、次の通りであります。

【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益(営業利益)		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
加工食品事業	36,100	36,340	240 (0.7%)	1,641	1,053	△ 587 (△35.8%)
食肉事業	13,185	13,935	750 (5.7%)	37	6	△ 30 (△81.9%)
その他	113	92	△ 21 (△19.0%)	54	54	△ 0 (△0.6%)
合計	49,399	50,368	968 (2.0%)	1,732	1,114	△ 618 (△35.7%)

【加工食品事業 売上高内訳】

(単位：百万円)

	売上高		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
ハム・ソーセージ	21,491	20,584	△ 906 (△4.2%)
調理・加工食品	14,609	15,756	1,146 (7.8%)

①加工食品事業

ハム・ソーセージ部門では、「燻製屋熟成ウインナー」や「いつも新鮮ロースハム」などの主力商品を中心に、ロンドンオリンピック日本代表選手団を応援する「がんばれ！ニッポン！キャンペーン！」などの販売促進に積極的に取り組んだほか、肉食志向に対応したメニュー提案を実施し売上拡大に努めましたが、価格競争が激しさを増すなかで、当部門の売上高は、前年同四半期比4.2%の減収となりました。

調理・加工食品部門は、前年に発生した震災特需の反動により、レトルトカレー商品は前年同期実績を大きく下回りましたが、韓国風チゲ「スンドゥブ」、トルティーヤで包んだワンハンドタイプのスナック「ラッパーズシリーズ」などの売上が堅調に推移しました。また、子会社化した(株)マルシンフーズの売上も寄与するなど、当部門の売上高は、前年同四半期比7.8%の増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同四半期比0.7%増の363億40百万円となりましたが、主力であるハム・ソーセージ部門の減収などから、営業利益は前年同四半期比35.8%減の10億53百万円となりました。

②食肉事業

牛肉につきましては、お客様の低価格商品志向や国産牛肉の相場低迷など厳しい環境が続いていますが、米国産牛肉の販売拡大に努めました結果、牛肉の売上高は伸長しました。一方、豚肉につきましては、供給量の増加から相場が下落し販売数量、売上高ともに低迷しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同四半期比5.7%増の139億35百万円となりましたが、収益性の悪化などから営業利益は前年同四半期比81.9%減の6百万円となりました。

③その他事業

その他事業の売上高は前年同四半期比19.0%減の92百万円、営業利益は前年同四半期比0.6%減の54百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(連結財政状態)

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第1四半期 連結会計期間末	増 減
総 資 産	124,357	124,335	△ 22
負 債	56,048	57,130	1,082
純 資 産	68,309	67,204	△ 1,104
自 己 資 本 比 率	53.7 %	52.8 %	△ 0.9 %

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が16億75百万円増加したほか、たな卸資産が5億円増加しましたが、現金及び預金が25億55百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ22百万円減少し、1,243億35百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が4億14百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ10億82百万円増加し、571億30百万円となりました。

純資産は、四半期純利益3億76百万円の計上などがありましたが、剰余金の配当金11億69百万円の支払などから、前連結会計年度末に比べ11億4百万円減少し、672億4百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.9%減少し、52.8%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,258	970	△ 1,288
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,137	△ 1,613	△ 476
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,666	△ 1,912	△ 245
現金及び現金同等物の期末残高	13,038	9,739	△ 3,298

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権やたな卸資産の増加などによる減少要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益の計上や仕入債務の増加などから、9億70百万円増加(前年同四半期連結累計期間と比べ12億88百万円減少)しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備の増強・合理化や品質の安定のための固定資産の取得による支出などから、16億13百万円減少(前年同四半期連結累計期間と比べ4億76百万円支出増加)しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払や有利子負債の返済による支出などから、19億12百万円減少(前年同四半期連結累計期間と比べ2億45百万円支出増加)しました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は、前連結会計年度末から25億55百万円減少(前年同四半期連結会計期間末と比べ32億98百万円減少)し、97億39百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成24年5月10日に発表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,482	9,926
受取手形及び売掛金	25,234	26,909
商品及び製品	5,901	7,231
仕掛品	688	628
原材料及び貯蔵品	7,464	6,694
繰延税金資産	1,782	1,689
その他	844	1,622
貸倒引当金	△60	△60
流動資産合計	54,338	54,643
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	46,911	47,147
減価償却累計額	△31,046	△31,312
建物及び構築物(純額)	15,865	15,835
機械装置及び運搬具	44,746	45,962
減価償却累計額	△35,775	△36,326
機械装置及び運搬具(純額)	8,970	9,636
工具、器具及び備品	4,980	4,958
減価償却累計額	△3,402	△3,394
工具、器具及び備品(純額)	1,577	1,564
土地	19,052	18,994
リース資産	8,078	7,859
減価償却累計額	△3,831	△3,866
リース資産(純額)	4,246	3,993
建設仮勘定	1,385	1,313
有形固定資産合計	51,098	51,338
無形固定資産		
投資その他の資産	1,928	1,841
投資有価証券	9,323	8,747
関係会社株式	120	125
長期貸付金	178	196
繰延税金資産	60	66
その他	7,734	7,808
貸倒引当金	△425	△431
投資その他の資産合計	16,991	16,511
固定資産合計	70,018	69,692
資産合計	124,357	124,335

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,817	20,232
短期借入金	8,446	8,107
1年内返済予定の長期借入金	4,479	4,415
リース債務	1,076	1,018
未払金	6,627	6,535
未払法人税等	357	256
未払消費税等	352	376
賞与引当金	1,115	1,899
その他	1,835	2,764
流動負債合計	44,108	45,607
固定負債		
長期借入金	5,387	5,365
リース債務	3,272	3,081
繰延税金負債	1,884	1,690
退職給付引当金	854	849
その他	540	535
固定負債合計	11,939	11,523
負債合計	56,048	57,130
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	21,685	21,685
利益剰余金	37,171	36,378
自己株式	△697	△697
株主資本合計	64,875	64,083
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,001	1,620
繰延ヘッジ損益	17	1
為替換算調整勘定	△114	△81
その他の包括利益累計額合計	1,904	1,540
少数株主持分	1,529	1,581
純資産合計	68,309	67,204
負債純資産合計	124,357	124,335

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	49,399	50,368
売上原価	36,635	37,826
売上総利益	12,763	12,542
販売費及び一般管理費	11,031	11,428
営業利益	1,732	1,114
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	5	6
不動産賃貸料	43	43
その他	111	144
営業外収益合計	167	202
営業外費用		
支払利息	108	89
その他	72	136
営業外費用合計	181	225
経常利益	1,718	1,091
特別利益		
固定資産処分益	10	1
負ののれん発生益	19	—
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	29	2
特別損失		
固定資産処分損	42	36
製品自主回収関連費用	—	213
投資有価証券評価損	4	10
特別損失合計	46	260
税金等調整前四半期純利益	1,701	832
法人税、住民税及び事業税	219	292
法人税等調整額	69	92
法人税等合計	289	384
少数株主損益調整前四半期純利益	1,412	448
少数株主利益	110	71
四半期純利益	1,301	376

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,412	448
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△172	△381
繰延ヘッジ損益	△5	△16
為替換算調整勘定	9	22
持分法適用会社に対する持分相当額	—	10
その他の包括利益合計	△168	△364
四半期包括利益	1,243	83
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,132	△18
少数株主に係る四半期包括利益	110	101

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,701	832
減価償却費	1,428	1,375
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7	6
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△212	8
受取利息及び受取配当金	△11	△13
支払利息	108	89
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1
投資有価証券評価損益 (△は益)	4	10
固定資産処分損益 (△は益)	32	35
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,915	△1,681
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,127	△505
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,970	416
未払消費税等の増減額 (△は減少)	24	23
その他	883	596
小計	2,893	1,192
利息及び配当金の受取額	140	160
利息の支払額	△61	△66
法人税等の支払額	△714	△315
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,258	970
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△9	△16
投資有価証券の売却による収入	—	13
固定資産の取得による支出	△1,228	△1,517
固定資産の売却による収入	104	4
関係会社株式の取得による支出	△53	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	5	—
その他	43	△97
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,137	△1,613
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	40	△350
長期借入れによる収入	—	224
長期借入金の返済による支出	△295	△310
リース債務の返済による支出	△367	△287
配当金の支払額	△1,039	△1,169
その他	△4	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,666	△1,912
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△544	△2,555
現金及び現金同等物の期首残高	13,582	12,295
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,038	9,739

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	36,100	13,185	49,285	113	49,399	—	49,399
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	338	338	△338	—
計	36,100	13,185	49,285	452	49,737	△338	49,399
セグメント利益	1,641	37	1,678	54	1,732	—	1,732

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「加工食品事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結累計期間より、新たに取得した有限会社紀の梅食品を連結の範囲に含めましたことや、連結子会社である株式会社熊野路の株式を追加取得しましたことから、負ののれん発生益(特別利益)を計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては19百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	36,340	13,935	50,276	92	50,368	—	50,368
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	392	392	△392	—
計	36,340	13,935	50,276	484	50,760	△392	50,368
セグメント利益	1,053	6	1,060	54	1,114	—	1,114

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。